

観光地周辺の市営駐車場の活用

問 観光地に近い市営駐車場の利用状況について伺いたい。また、観光客の利便性向上のために松が枝町の市営駐車場にコインロッカーを設置する考えはないか。

答 主要観光地である平和公園及びグラバー園周辺には平和公園駐車場、松が枝町第1・2駐車場の3市営駐車場を設置し、観光地周辺の駐車場不足や交通渋滞の緩和に寄与している。昨年の利用状況は、東日本大震災の影響や高速道路料金の上限千円の廃止等もあり、駐車場の利用台数は伸び悩んでいる。また、観光地周辺の市営駐車場は多くの観光客が利用するため、コインロッカーの設置については前向きに検討し、利用者に喜ばれる施設の運営に努めたい。

公明党

通学路の安全対策

問 通学途中の交通事故が立て続けに発生している。通学路における危険箇所を早急に調査・点検し、児童生徒

が安全・安心に通学できる措置を確実に講じるよう、安全対策について緊急要望を提出したが、その進捗状況を示してほしい。

答 教育委員会は、全市立学校に対し、通学路を新たな視点で点検するよう指示し、改善が必要な箇所の報告を受けた。報告結果については、道路管理者等と情報の共有を図り、具体的な対応方法等について協議を行った。この会議の中で、道路管理者、警察、学校による合同調査を実施し、地域の意見を踏まえ、優先順位をつけて対応することとしている。児童生徒の安全確保は最優先事項との認識の下、関係機関との連携を密にし、早急に対応していきたい。



▲白線を塗り直した三原小通学路

上下水道事業マスタープランの見直し

問 マスタープランの策定から5年が経過した。この間、企業債の借り換え等による繰上償還や民間への業務委託により、効率的で効果的な事業経営の成果が上がっているが、同プランの見直しを含め、今後の取り組みにつ

て伺いたい。

答 事業経営の健全化は、すでに新しい行財政改革プランの実施計画に位置づけ、浄水場運転監視業務の民間委託の拡大や事務処理体制の見直しなどにより、水道事業で23人の職員を削減する予定にしている。また、効率的な施設設備についても「水道施設統合整備事業」を重要事業として現在取り組んでおり、水道施設の統廃合を推進することで一層の効率化が図れると考えている。マスタープランは事業経営の指針として大きな役割を果たすため、今後も見直しに鋭意取り組み、安全で安心な水の供給に努めていきたい。

空き家適正管理条例の制定

問 本市における空き家適正管理条例の制定についての考えを伺いたい。

答 国土交通省の調査によると、平成24年4月1日時点では、54の自治体が空き家等の適正な管理に関する条例を施行している。本市においては、平成22年5月に庁内関係課による対策連絡会議を設置し、現在、他都市の事例の調査等を行っている。著しく保安上危険な建築物については、その所有者等に対して建築物の除去などを命令することや行政代執行ができると建築基

準法に定められているので、同法の適用の可否や条例による対策等の実効性などについて検証しながら、条例制定の必要性も含め、多角的な視点から検討を続けていきたい。

城山小学校被爆校舎の環境整備

問 一般公開している城山小学校被爆校舎近くへの見学者用トイレの新設とトイレまでの通路のバリアフリー化などの環境整備について伺いたい。



▲城山小被爆校舎

答 城山小学校被爆校舎は、現在、地元の方々の協力のもと平和祈念館として公開されており、県内外から数多くの見学者が訪れている。見学者の方々には、体育館横の学校開放用の屋外トイレを利用していただいている。このトイレは、昭和58年に設置されたもので、今年度、便器を和式から洋式に変更するとともに、手すりを設置するなどの改修が予定されている。また、このトイレまでの通路には、1か所車いすが通りにくい部分があるので、標